



地域の安全と災害に強い 豊かな森づくり事業



京都府福知山市大堀区自治会
会長 河谷 寅夫

1 背景

- ※ 大堀区自治会 (15自治会の連合自治会)
令和6年12月現在、人口6,360人
- ※ 近年の大堀区内における災害発生時雨量
 - ・平成26年8月8日16日～17日(豪雨被害)
 - 1時間降水量 午前4時30分 62mm
 - 24時間降水量 303mm
 - 48時間降水量 341mm
 - 由良川最高水位 6.48m
 - ・平成30年7月7日(西日本豪雨災害)
 - 1時間降水量 午前1時00分 60mm
 - 24時間降水量 439mm
 - 由良川最高水位 6.53m



水害の状況

福知山市では、明治中期以降、由良川の氾濫などにより大きな水害が何度も起きています。

大堀区自治会が管理する(森林所有面積216ha)も過去に何度となく自然災害の襲来を受けましたが、近年では、26年・30年の豪雨により過去に経験のない甚大な被害を受けました。

2 区民意識の向上

2度の豪雨により地域が大きく被災し、平成27年度より京都府治山事業の10ヶ年計画が構築されハード対策として、堀山一帯で(治山ダム20基、山腹工事8箇所、流木補足工)等が令和5年度までに完成しました。



地域住民による美化作業

これらの事業を行うには、地元地権者の方が、地域住民の生命・財産を守るため、無償で土地の提供、また、ヒノキの伐採などの全面的なご協力により完成しました。

近年は各自治会で、すべての住民の皆さんが、「安心・安全に暮らせるまちづくり」を基調に、避難訓練・災害時高齢者の移送訓練・生活道の美化作業等、が活発に行われるようになり、住民同志の繋がりや相互の協力関係も良くなってきました。

3 将来に向けて

将来を見据え、数十年前より広大な堀山森林整備事業に取り組んでいます。

主な事業内容は、「森林整備・間伐・作

業道の維持管理・森林の防災力向上」災害に強い豊かな森づくり事業」を進めています。



中学生による植栽体験

森林整備事業の取り組みとして、循環型林業を取り入れ、主伐を行いその後に、再造林広葉樹植栽事業を始めました。令和2年から地元の公立大学生・中学生と連携し、毎年200本のコナラの植栽をしています。昨年も11月に役員と中学生31名により1,000本（0.84ha）の節目となる植栽が終わりしました。



植栽体験を終えて

生徒たちも、10年・20年後、この場所にきてどれだけ成長しているか見みたいと言っています。

その言葉を聞くだけでもこの事業に取り組んで来たことの成果が出てきたのではないかと役員一同喜んでいました。

この植栽事業は広範囲に渡る荒廃林地へ今後も広げる予定で、令和4年度より事業化しました。

これらにより若い方にも防災意識の高揚

が高まればと期待しているところでもあり、今後も継続していければと思っています。

※ これらの主な財源は、自治会費と高圧線鉄塔地権料による。

※ 山から得た収入は山へ帰すことを理念としています。

令和5年度に京都府の指導により「循環型未来創造事業」として、主伐・再造林（0.5ha）を実施しました。この付近一帯に、3か所の先進的な「治山ダム・災害修復箇所・循環型林業施設」等があり、近隣の行政機関・森林関係者等が、視察・研修に来られます。

4 区民の憩いの場になれば



整備されたさくら広場

堀山の林道中腹には、「さくら広場」があります。桜・紅葉を初め四季折々の花が咲き市街地の眺望がきく風光明媚な広場です。今では整備事業も終え災害前の景観も戻ってきました。松茸山・ワラビ・ゼンマイ・栗等、山の恵みが採取できるところでもあり今後は、地域住民皆さんの憩いの場として開放を考えています。

これら一連の事業活動を通じ、先人の方々より守り続けてこられた大堀区の山林を今後も次の時代に継続でき、森林保安の意義である「特定の公益目的の達成」が保持できるよう休むことなく努力を続けて行きたいと思っています。